

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名		コミュニティ助成事業		担当部署	市民環境部 市民協働推進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	コミュニティ助成事業補助金交付要綱		
基本政策(大項目)	5	分権社会に向けた新しい鳴門づくり					
政策(中項目)	1	新しいかたち・市民参加都市 なんと		事業期間	開始	平成	6年度
(小項目)		コミュニティ					
施策	1	地域のまちづくりの推進			終期	未定	
基本事業	1	コミュニティ活動の推進					

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 コミュニティ団体						
	事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	コミュニティ団体への助成を通じて、伝承文化を次世代に継承し、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げ地域コミュニティを活性化する。					
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		助成を受けた団体数(累計)	28	29	30	31	32	団体

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	堂浦秋まつり保存会(屋台の新調)に対して助成を行うとともに、過去に助成を受けた団体も「鳴門のまつり」で紹介するなど、伝承文化を次世代に引き継ぐ活動を地域とともに実施した。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標	1 助成を行った団体数	1	1	1	1	1	団体
	2						
成果指標	助成を受けた団体数(累計)	28	29	—	—	—	団体
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	2,500	2,500	2,500	2,500		2,500
一般財源	0	0	0	0	0			
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		652	652	652	652	652	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		3,152	3,152	3,152	3,152	3,152	千円	

【事務事業名:コミュニティ助成事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	大谷甘酒祭り保存会の御輿修繕等と白丁の整備に助成を行う。大谷地区の伝統文化「甘酒祭り」を末永く継承し、地域の歴史を再認識するとともに、世代を超えたコミュニケーションを通じて心のまちづくりを図る。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	伝承文化の継承を通じて、地域コミュニティの活性化につなげる。 (財)自治総合センターが事業を継続する限り、地域の要望に基づき提案応募していく。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 地域のまちづくりの推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	/10		
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	伝承文化の継承と後継者育成に役立っている。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。	
<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
/10			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ <input type="text"/> ▼			
	どのように改革するのか				